

2023年10月24日

上板町長
松田 卓男 様

徳島県保険医協会
理事長 納田 一徳

带状疱疹ワクチン接種の助成制度創設を求める要望書

日ごろより貴職のご尽力に敬意を表します。

私たちは県内の医師・歯科医師 601 人が加盟する団体です。

さて、以前からワクチンによる予防が重要と言われている、带状疱疹ですが、高齢者だけでなく比較的若年層での罹患も報道されています。

带状疱疹は特に 50 代以上が罹患しやすい疾病であり、加齢や疲労、ストレスによる免疫力の低下で 80 歳までには 3 人に 1 人が発症すると言われていています。さらに、免疫力が低下するがん患者の罹患率はより高くなり、複数回罹患する場合もあると言われていています。痛みが徐々に増していき、日常生活や就労が制限されたり、夜も眠れなくなることもあります。

また、20%の患者が带状疱疹後神経痛を併発し、長ければ数年以上疼痛に苦しむことになります。頭部や顔面に带状疱疹が出た場合、視力低下や失明、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る可能性もあります。

带状疱疹を防ぐにはワクチン接種が有効とされていますが、現在带状疱疹のワクチンは任意接種です。接種から 9 年後の時点でも有効性があるとされる不活化ワクチンは計 2 回で数万円と高額であり、接種を断念する人も少なくありません。経済的な理由からワクチン接種を諦め、病気に罹患することは医療者として看過できません。行政として、ワクチン接種で病気を防ぎ、苦しむ町民が生じないような施策を要望します。

記

- 一、一定年齢以上の带状疱疹ワクチンの接種希望者に対し、接種費用を助成する制度を創設してください。
- 一、助成制度創設にあたっては、効果の高い不活化ワクチンを対象としてください。
- 一、国に対し、带状疱疹ワクチンの助成制度創設を働きかけてください。

以上